

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

2024年7月期

第2四半期 決算説明資料

2024年3月13日

証券コード
7097



経営理念

**安全と安心を提供し
自然で和やかな笑いに満ちた
あたたかい子育て環境を作り出す**

地域や社会と子どもやその保護者をつなぐハブ（拠点）へ



子育てDEGs

子育てDEGsとは

子育てDEGsは、「コンディージーズ」と読み、少子化が進む日本においてより**ポジティブ**に子育てができるような**社会環境**を作り続けることを目標とします。多くの方が子育てへ参加し楽しむことを**企画・開発（Development）**し、**子育て環境（Environment）**をつくることを、**ゴール（Goals）**とし、活動をいたします。

※子育てDEGsは当社が考案した造語です。

グループの事業ポートフォリオ

当社（純粋持株会社）

さくらさくプラス
SAKURASAKU PLUS

1. グループ中核事業

保育サービス

株式会社さくらさくみらい
(連結子会社)



2. 基盤能力の活用

不動産 企画・開発

株式会社さくらさくパワーズ
(連結子会社)
さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS

株式会社あかるいみらいアセット
(持分法適用関連会社)
AKARUI MIRAI
ASSET

3. 中核事業のノウハウ活用

情報資産サービス

株式会社みらいパレット
(連結子会社)



研修サービス

株式会社保育のデザイン研究所
(連結子会社)



4. 事業領域の拡大



子育てしやすい
社会を目指して
さらなる事業拡大

進学塾運営

株式会社 VAMOS
(連結子会社)

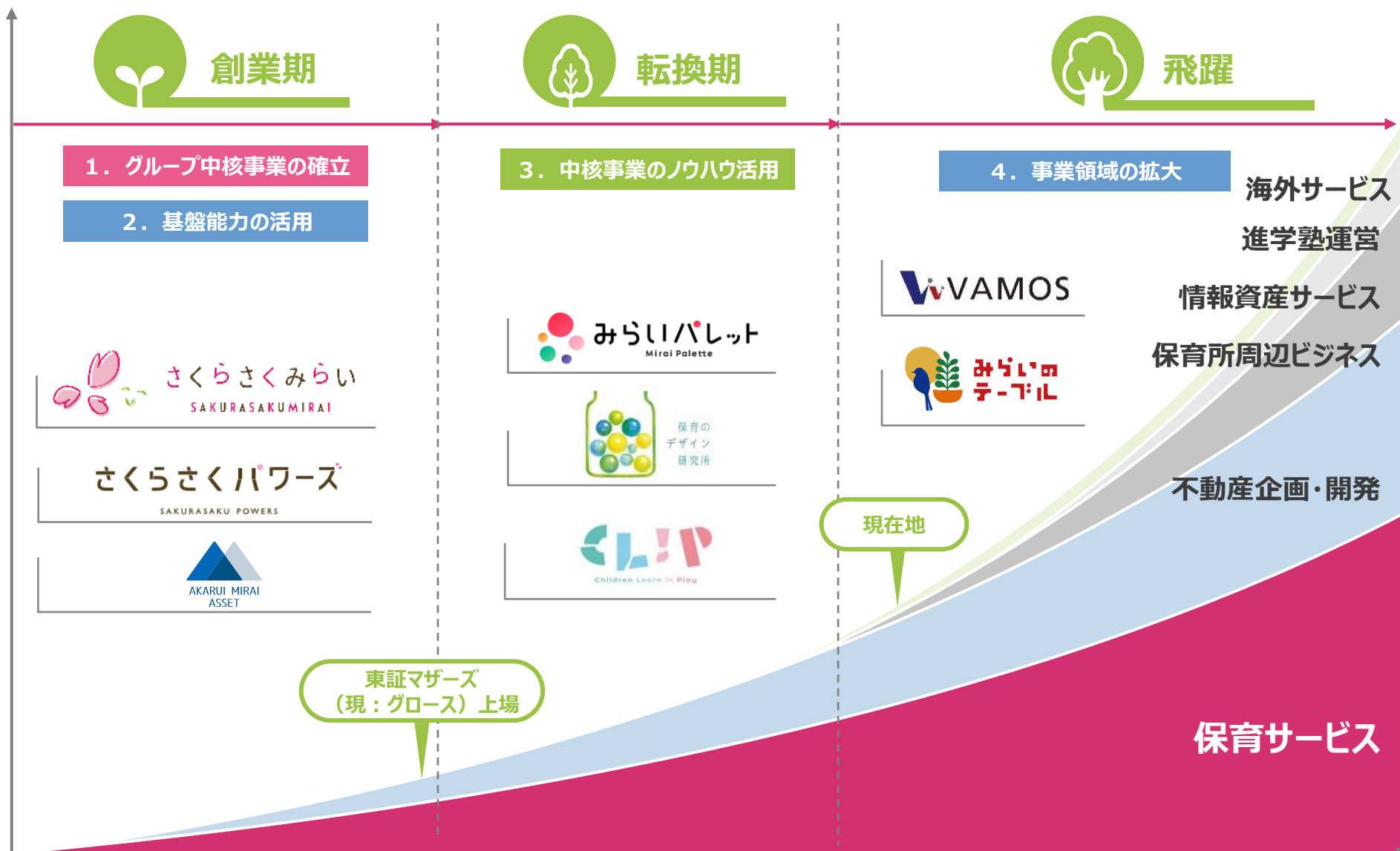


食育サービス

株式会社みんなのみらい
(連結子会社)



長期的事業拡大ステージ



▶ 2024年7月期 第2四半期決算概要／

通期業績予想の修正 P.5

▶ 自己株式の取得／剰余金の配当 P.12

▶ 2024年7月期 事業活動 P.15

▶ Appendix P.21



2024年7月期 経営トピックス

保育サービス

パークタワー勝どき（中央区）認可保育所を新規開園（2024年4月1日）

保育サービス

積極的な園児の受入れと進級園児により園児在籍率が昨年対比アップ

子育て支援カフェ

（中央区）月島に「みらいのテーブル」2号店オープン（2024年4月27日）

子育て支援住宅

（港区）西麻布プロジェクト 当期、竣工／売却決定（売買契約を締結）
2024年6月に引渡し予定 引き渡し時に収益影響

進学塾サービス

（中央区）月島に新校舎を開校（2024年4月8日）

保育研修サービス

約350講座のオンライン研修 サブスクリプション・サービスをスタート
全国自治体から研修業務を受託

New

通期予算

2024年7月期通期業績予想の上方修正

New

資本政策

自己株式取得を決議・実行（2024年1月9日決議 / 1月10日開始）

（取得株式総数：上限250,000株（発行済株式総数に対する割合5.5%） 取得総額：上限200,000,000円）



2024年7月期 第2四半期決算概要

(百万円)	2024年7月期 2 Q実績 (A)	2023年7月期 2 Q実績 (B)	前年同期比	
			増減 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	7,108	6,576	531	8.1%
営業利益	209	21	187	883.9%
経常利益	186	61	124	202.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	196	2	194	—

売上高

新規入園児の受入れ及び在園児の進級により在籍率が向上したことによる保育施設の増収に加え、その他サービスの売上が概ね見込み通り積み上がったことが寄与し、前年同期比8.1%の増収

営業利益

増収に加え、ICT化による業務効率化をはじめとした各種のコスト削減施策が功を奏し、前年同期比883.9%の増益

経常利益

当四半期累計期間においては前年同期に計上した補助金収入（1 保育施設の新規開設に伴い計上した営業外収益）は発生していないものの、営業増益に伴い経常利益は前年同期比202.6%の増益

親会社株主に帰属する

四半期純利益

各段階損益の増益に加え、前年同期に計上した特別損失（災害損失引当金繰入額）が当四半期累計期間に発生していないことなどから、大幅増益

2024年7月期 通期業績予想修正(上方)

(百万円)	修正後 2024年7月期 通期予算 (A)	修正前 2024年7月期 通期予算 (B)	増減額 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	17,100	16,773	327	1.9%
営業利益	580	445	135	30.3%
経常利益	650	552	98	17.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	500	429	71	16.6%

修正の理由

売上高は、新規開設した施設及び既存施設で積極的な園児の受入れを行った結果、各施設の利用園児数が予想を上回ったこと等により前回予想を約3億2,700万円（1.9%）上回る見通しとなり、営業利益は、売上高の増加に加え、販売用不動産の売却やICT化等の業務効率化によるコスト削減効果が寄与し、前回予想を1億3,500万円（30.3%）上回る見通しとなった。

なお、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても、売上高ならびに営業利益の増加に伴い、それぞれ前回予想を上回る見通しとなった。

2024年7月期 通期予算に対する進捗

(百万円)	2024年7月期 2Q実績 (A)	2024年7月期 通期予算 (B)	通期予想 進捗率 (%)
売上高	7,108	17,100	41.6%
営業利益	209	580	36.0%
経常利益	186	650	28.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	500	39.2%

進捗状況

既述の通り売上高は当初予測を上回って推移しており、通期予算の上方修正を行っている。

当社グループの収益は保育施設の新規開設や在籍率向上が4月（第3四半期）に集中するため下期偏重となる傾向があるが、修正後の通期予算に対する売上高の進捗率は予算を達成した前年同期と同水準である。

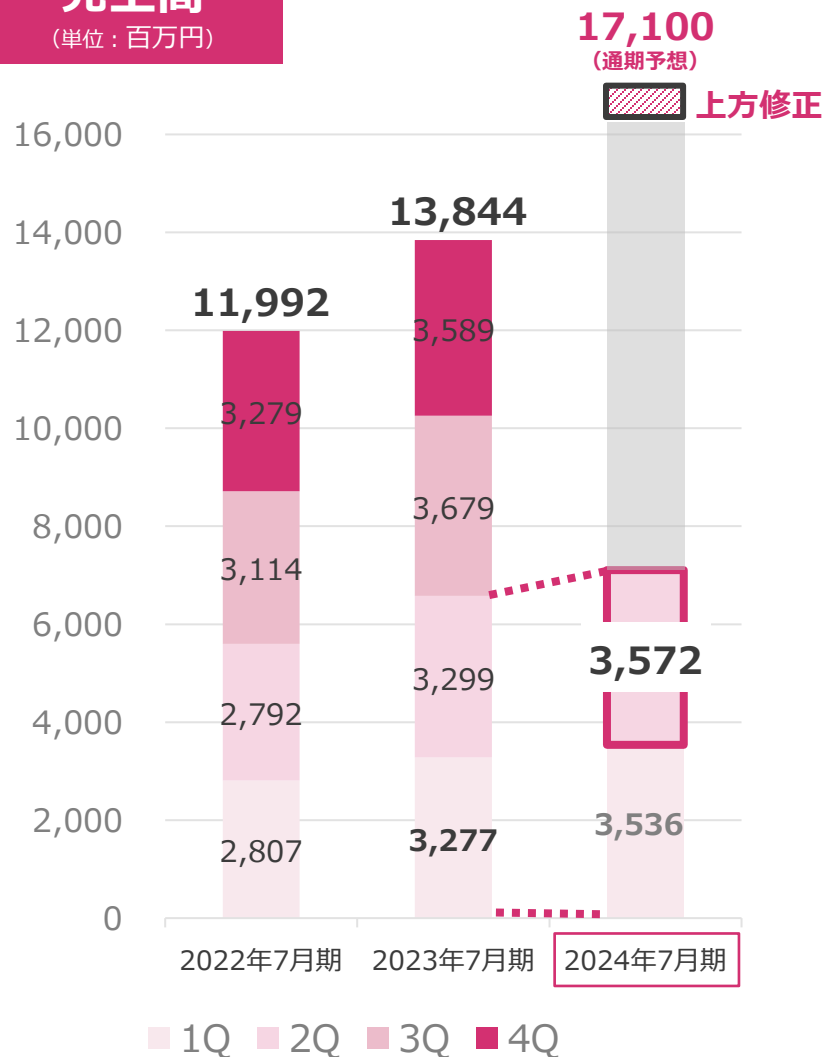
営業利益以下の段階損益についても、売上高予算の上方修正や、当第2四半期中に売買契約を締結した利益貢献度の高い販売用不動産の引渡し（収益計上）を下期に予定していることに加え、業務効率化等のコスト削減施策による効果が想定以上となったことなどから当初予測を上回って着地する見込みとなったため、通期予算の上方修正を行っている。

なお、経常利益が営業利益よりも下期偏重となっているのは、営業外収益に計上される保育施設の「補助金収入」が第3四半期に計上される計画となっていることによるものである。

四半期別 売上高ならびに営業利益

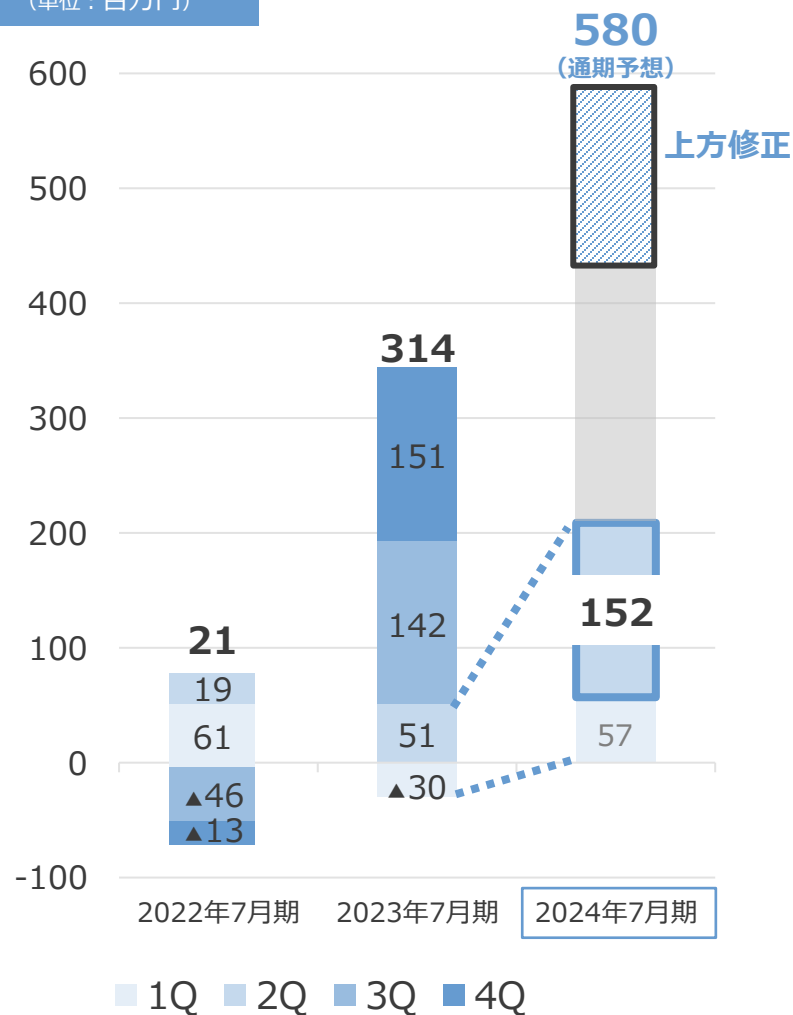
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2024年7月期 第2四半期貸借対照表

- 資産の部では、主に収益不動産への投資に伴う有形固定資産の増加約3.5億円、営業活動の成果としての現金及び預金の増加3.3億円、運営施設の増収の影響等による未収入金の増加約1.4億円等があり、資産合計が約8.2億円増加
- 負債の部では、主に不動産投資のための資金調達に伴い、負債合計が約7.7億円増加

(百万円)	2023年7月期実績	2024年7月期2Q実績	前期末比
資産の部			
流動資産	4,022	4,450	428
現金及び預金	752	1,083	330
仕掛販売用不動産	1,482	1,482	0
未収入金	1,328	1,471	143
その他	459	413	▲45
固定資産	10,465	10,865	399
有形固定資産	9,202	9,556	353
無形固定資産	375	368	▲7
投資その他の資産	886	941	54
資産合計	14,488	15,316	827
負債の部			
流動負債	3,325	3,803	477
短期借入金	1,440	2,023	582
1年内返済予定の長期借入金	505	483	▲22
その他	1,378	1,296	▲82
固定負債	6,219	6,518	298
長期借入金	3,639	4,016	377
その他	2,580	2,502	▲78
負債合計	9,545	10,322	776
純資産の部			
純資産合計	4,942	4,994	51
負債・純資産合計	14,488	15,316	827

contents

▶ 2024年7月期 第2四半期決算概要／

通期業績予想の修正 P.5

▶ 自己株式の取得／剰余金の配当 P.12

▶ 2024年7月期 事業活動 P.15

▶ Appendix P.21



自己株式取得に係る事項を決議（2024年1月9日決議）

取得株式総額

上限 200,000,000円

取得株式総数

上限 250,000株（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.5%）

取得期間

2024年1月10日～2024年4月30日

取得理由

株主還元および資本効率向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため

進捗状況（2024年2月末時点）

株式数 181,200株（72.5%） 総額 172,977,900円（86.5%）

中間配当を決議（2024年3月13日決議）

	2021年7月期	2022年7月期	2023年7月期	2024年7月期（予）
年間配当金		10円	12円	16円 （予定）
中間	配当なし	5円	6円	8円 （決議済）
期末		5円	6円	8円 （予定）
配当性向		4.0%程度	16.6%程度	14.1%程度

contents

▶ 2024年7月期 第2四半期決算概要／

通期業績予想の修正 P.5

▶ 自己株式の取得／剰余金の配当 P.12

▶ **2024年7月期 事業活動** **P.15**

▶ Appendix P.21



中央区エリアへ認可保育所を新規開園

株式会社
さくらさくみらい



さくらさくみらいの保育所

愛情をたっぷり注ぎあわてず個性を伸ばす

全体の**92.1%** 東京認可保育所

82施設 / 全 89 施設 (予定)

全体の**93.9%** 駅チカ保育園

最寄り駅から10分以内の
さくらさくみらいの都内保育所

東京認可保育所
77施設 / 82 施設 (予定)

子どもたちの成長が花ひらく「よろこびや うれしさをともに」

2024年4月1日
(中央区) 勝どきへ新規開園

■ 東京都中央区へ認可保育所を新規開園 (89施設目)

東京都中央区

東京都中央区は住宅開発等が進み人口が増加傾向にあり、中央区の合計特殊出生率は1.31と、東京都内の値が1.04であるのに比べ、高い数値。今後も保育の需要が高いエリアへより良い子育て環境を提供するべく当エリアを選定。



子育て支援カフェ 中央区月島に2号店オープン

株式会社
みんなの未来



親子が「行きたい！」店舗づくり

心と体の栄養と満足を叶えるパンと親子共に心地よく過ごせる空間

- 美味しいパンの提供とワクワクする店内
▶▶▶ 子どもの「行きたい」
- オシャレな環境でゆったりと食事を楽しめる
▶▶▶ 大人の「行きたい」

親子で楽しめる子育て支援カフェ

2024年4月27日 2号店オープンに向けて順調に進捗

■ 当社グループの運営する保育所のうち 8施設が集中するエリア

2号店（月島）の特徴

当社グループで運営する保育所でも大切にしている“あたたかさ”、木のぬくもりを感じられる店内。
また、お子さまとその保護者様が一緒に楽しめるよう本を設置いたしました。



株式会社
さくらさくパワーズ

さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS

東京こどもすくすく住宅認定制度

居住者の安全性、家事のしやすさなどに配慮された住宅で、子育てがしやすい環境づくりの取り組みを行っている優良な住宅を、東京都が認定する制度

概要・ポイント

- 2023年4月7日創設
- 従来の子育て支援住宅制度よりも、事業者のより幅広い取り組みが対象に（キッズルームなどの共用部も助成対象に）
- 1戸に最大200万円を東京都が助成

子育て支援住宅の開発

西麻布プロジェクト（子育て支援住宅） 売却決定（売買契約2024年2月締結） 6月引渡し予定

■ 収益計上は第4四半期会計期間中

（自2024年5月1日至2024年7月31日）に予定



第一弾

東京都港区西麻布プロジェクト

第二弾

東京都台東区浅草
プロジェクト



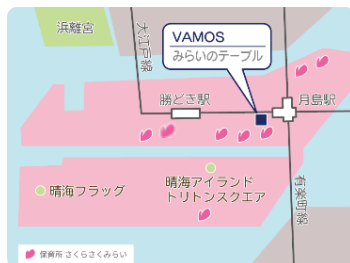
進学塾サービス 中央区月島に5校目となる新校舎を開校

株式会社
VAMOS



VAMOS 6つのポイント

1. お子さまに寄り添う指導
2. 質の高い講義
3. 学力・個性に合わせたクラス編成
4. 仲間と共に高めあえる環境
5. 最新の受験事情の提供
6. 未来につながる授業



子育て家庭の受験を全力でサポート

2024年4月8日 (中央区) 月島へ5校目となる新校舎を開校

■ 私立中学進学率 東京23区第2位

東京23区では5人に1人が中学受験をするといわれる中でも、中央区における私立中学進学率は、文京区に続く第2位で43%と高水準
月島校は2路線利用可能な月島駅から徒歩1分、江東区豊洲などの臨海エリアの住宅地からの交通の便もよく、月島地区に限らず通塾にも便利



生徒数の増加

	2022年4月	2023年4月	2024年1月
全校舎生徒数 合計	277人	386人	432人

株式会社 保育のデザイン研究所



保育のデザイン研究所

保育のデザイン研究所の強み

- 様々な分野の専門家との強いネットワークを活かした質の高い研修
- 約350講座のオンライン研修をサブスクにて提供し、タイムリーなテーマの講座を手軽に受講可能
- 新人教育からマネジメントまで最先端の情報を幅広く網羅
- 集合研修（対面）やライブ研修は年間200回以上開催の実績
- それぞれの保育施設の状況に応じ内容をカスタマイズ

未来を創る、保育をデザインする

保育・幼児教育へ携わる人へ 質の高い研修を提供し、 日本全国の安心できる場所に。



■ 全国の自治体から研修業務を受託

保育士等キャリアアップ研修 業務契約件数

11月～1月

月平均 約**11**件

宮城県、長崎県、等

集合研修開催件数

(自治体及び法人含む)

11月～1月

月平均 約**22**件

on-line研修契約件数

(自治体及び法人含む)

11月～1月

月平均 約**518**件

保育者施設従事者向け研修動画の
制作及び配信業務委託

千代田区

contents

▶ 2024年7月期 第2四半期決算概要／

通期業績予想の修正 P.5

▶ 自己株式の取得／剰余金の配当 P.12

▶ 2024年7月期 事業活動 P.15

▶ **Appendix** **P.21**

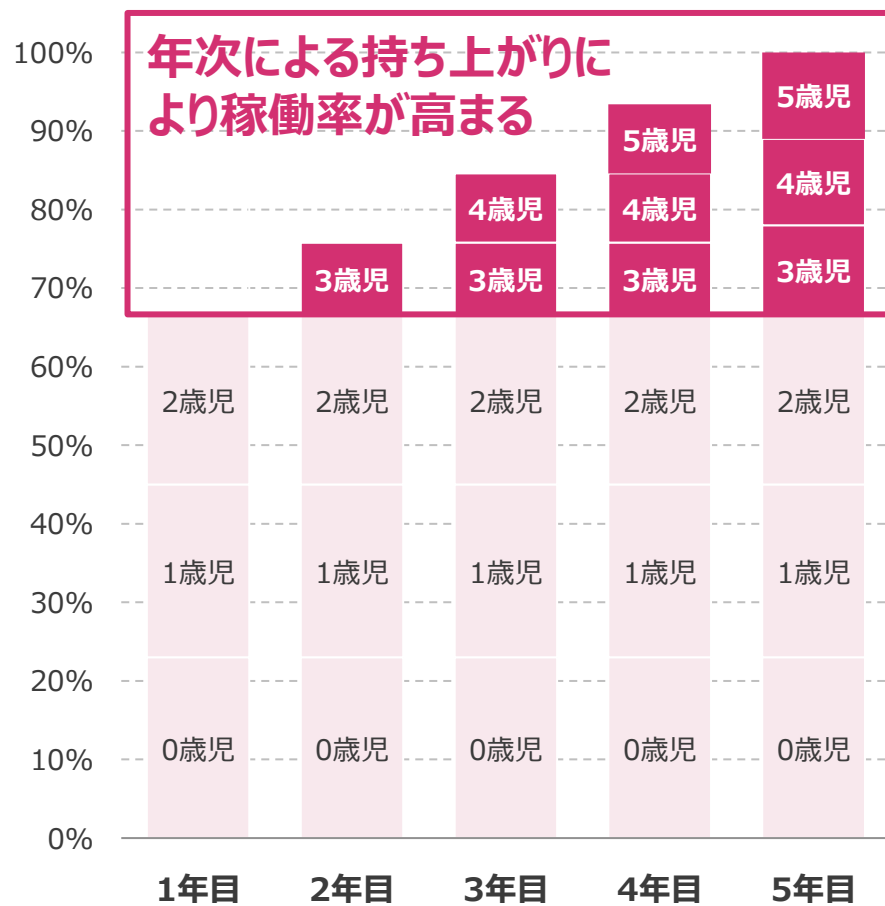


売上・売上原価の構成と開所から収益最大化までのイメージ

売上高と売上原価・販管費イメージ



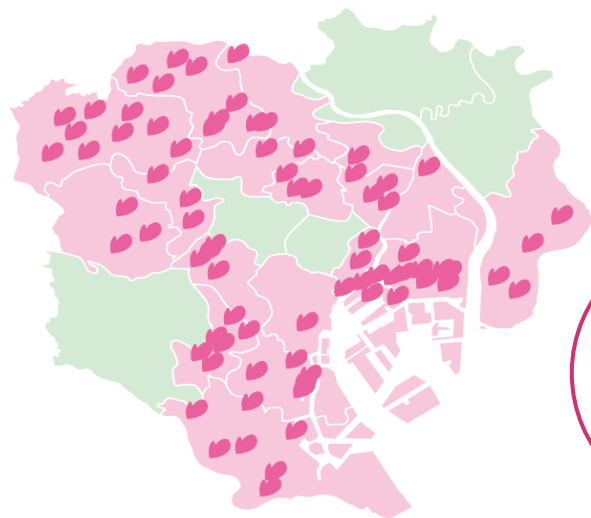
保育所1カ所当たり収益イメージ



保育サービスの強み

認可園

東京認可保育所 **82** 施設 / 全 **89** 施設
※ 新規園含む



(東京都公表)

就学前児童人口に対する
保育サービスの利用率

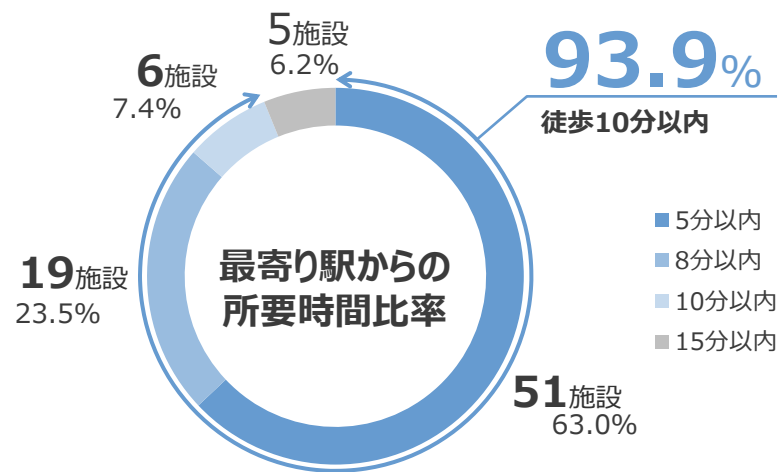
56.8%

利用者全体の
認可保育所利用率

89.0%

駅チカ

最寄り駅から10分以内の
さくらさくみらいの都内保育所 **77** 施設 / **82** 施設
東京認可保育所
※ 新規園含む
※ 分室を除く



前提条件 = 徒歩1分 = 80mとして10分圏内 = 約800m

(東京都公表)

小学生までの子どもを養育する
両親世帯のうち、共働き世帯の割合

過去最多
6割以上

保育所運営における安全と質の向上への取り組み

安全への取り組み

- ◆ 運営委員会開催
外部アドバイザー・保護者代表・地域担当などが参加し、要望・意見の収集と改善策の提案
- ◆ 園での事故事例について情報共有
- ◆ ご意見箱の設置
- ◆ ブログによる情報共有
- ◆ 全施設へ防犯カメラを設置

保育マニュアル

- ◆ 日常業務を細かくマニュアル化した保育マニュアル（登園時の対応、食事・午睡・お散歩他、安心・安全な保育に寄与）の整備
- ◆ 虐待の防止に関する指針や苦情対応フローなどを制定し、子どもを守る保育を実践

職員研修

- ◆ 階層により年11時間～56時間実施
実施後はレポートを作成し、研修内容の整理と習熟度の把握
- ◆ 園長・役職者向けプログラムとして職員の園児に対する不適切対応、リスクマネジメント研修も実施

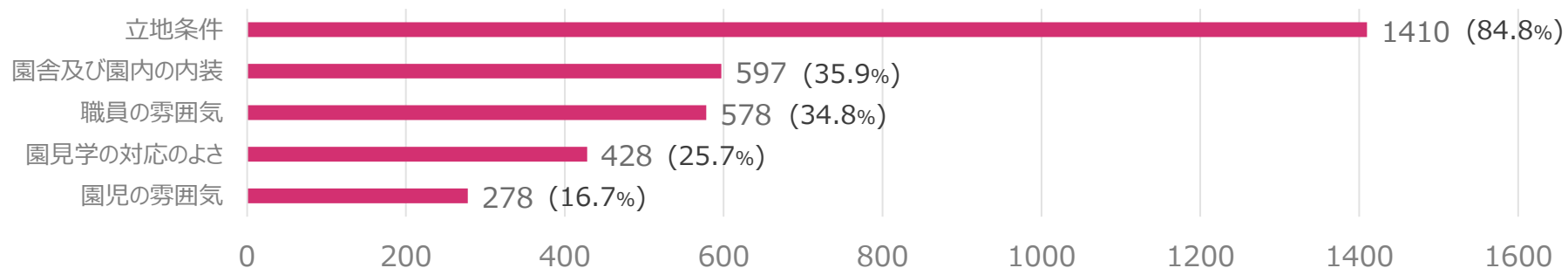
その他

- ◆ 毎月の職員会議にて、本部からの安全管理・虐待等の情報を共有・注意喚起
- ◆ 本部に巡回訪問の部門を設置し運営サポート・指導を実施
- ◆ 事故事例が発覚した際は本部に速やかに共有し調査を実施
- ◆ 子ども虐待防止 オレンジリボン運動へ参加

高い満足度を実現 (当社グループ実施の利用者アンケート)

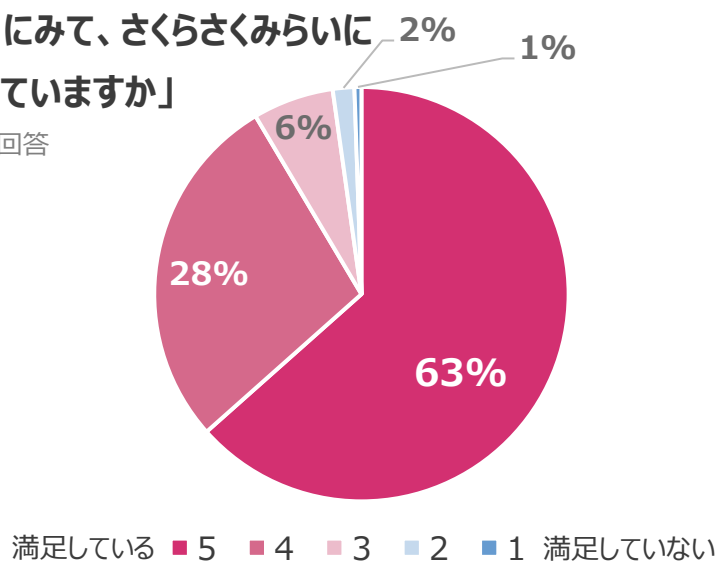
「さくらさくみらいの入園の決め手となったものを教えてください」(複数選択可)

1,663件の回答



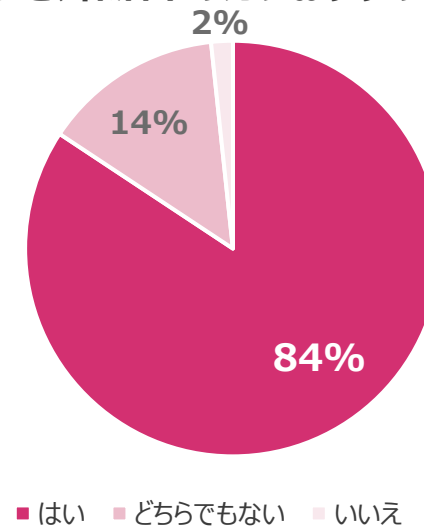
「総合的にみて、さくらさくみらいに満足していますか」

1,663件の回答



「さくらさくみらいを、保活中の方におすすめしたいですか」

1,663件の回答



運営保育所 在籍率

コロナ禍による保育所の利用控えにより在籍率が一時的に低下したものの、当期ではそれも落ち着き在籍率は回復傾向

直近の在籍率は低年齢児（0～2歳）93.7%に対して高年齢児（3～5歳）は68.0%とまだ成長、ここ数年で新規開設した施設は持ち上がりにより引き続き在籍率が高まる

年齢	2021年4月 在籍率	2022年4月 在籍率	2023年4月 在籍率	2023年10月 在籍率
運営施設数	73施設	85施設	88施設	88施設
0歳	86.4%	88.7%	75.6%	99.0%
1歳	94.6%	105.4%	89.8%	95.1%
2歳	89.1%	101.6%	88.8%	90.6%
3歳	79.5%	85.7%	74.9%	72.9%
4歳	66.6%	73.2%	72.3%	71.2%
5歳	52.4%	64.0%	60.3%	60.0%

- ♥ 本資料は、当社の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の見通しについても言及しています。
- ♥ これらの将来の見通しに関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- ♥ すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の見通しに関する情報に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ♥ 当社は、将来の見通し、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の見通しと大きく異なることもありえます。
- ♥ 本資料における将来の見通しに関する情報は、2024年3月13日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によってなされたものであり、今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS